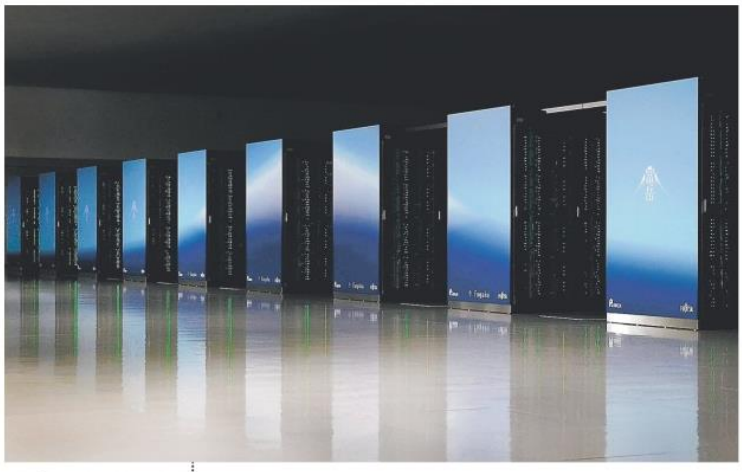
神戸新聞 2020年11月17日 火曜日 面名 ター タ4 1ページ

NIEワークシート小学校中学年～中学校／社会、理科、総合

スパコン富岳 再び世界一

なまえ【　　】



スパコンの計算性能で、再び世界４冠を達成。名称の「富岳」は富士山の異名＝神戸市中央区港島南町７、理化学研究所計算科学研究センター

神戸・理研

理化学研究所（理研）は17日、神戸・ポートアイランドに整備中のスーパーコンピューター「富岳」が、計算速度ランキング「トップ500」などスパコンの性能を示す主要4部門で2期連続の世界一になったと発表した。初めてフルスペック（全計算機の能力）を反映し、「トップ500」では先代機「京」の42倍以上の性能を達成した。（霍見真一郎）

主要な性能 2期連続「4冠」

全計算能力を発揮「京」の42倍

「富岳」が世界1位を獲得したのは、「トップ500」▽産業利用などにおける処理能力の「HPCG」▽ビッグデータを処理する性能の「グラフ500」▽人工知能（AI）における性能を測る「HPL－AI」の4部門。

いずれも1年に2回ランク付けされ、オンラインで開催中のHPC（ハイ・パフォーマンス・コンピューティング＝高性能計算技術）に関する国際会議「SC20」で発表された。「京」も「トップ500」で2期連続1位を達成している。

「富岳」は432台の計算機全てを使ったフルスペックでの計算速度として毎秒44京2010兆回をたたき出し、前回6月に公表された41京5530兆回を更新した。2021年度の本格運用を目指す。2位は、米国のスパコン「Summit（サミット）」の14京8600兆回で、富岳はその3倍の計算速度を誇る。

理研計算科学研究センターの松岡聡センター長は「突出して世界最高性能であることを再び示すことができた。富岳は今後、新型コロナウイルスに代表される多くの困難な社会問題を解決し、わが国のイノベーションを先導していくだろう」などとコメントを出した。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

①スーパーコンピューター「富岳」が 2期連続の世界一になった性能を示す主要4部門は何ですか。

計算速度ランキング 「□□□□□□」

産業利用などにおける処理能力 「□□□□」

ビッグデータを処理する性能 「□□□□□□」

人工知能（ＡＩ）における性能を測る 「□□□□□□」

②「富岳」はどこにありますか。「□□」・「□□□□□□□□」

③今回の発表はどこで行われましたか。　　の理化学研究所 計算科学研究センター

□□□（ハイ・パフォーマンス・コンピューティング＝高性能計算技術）に関する

国際会議「□□□□」

④「富岳」で調べたいことを考えてみましょう。